

7 がっひかりごう

令和2年7月1日 輝保育園

梅雨明けが待たれる時期です。夏は、楽しいプール遊びも始まり、気持ちが高まります。怪我が無いよう、気持ちを落ち着かせて参加できるようにします。友達と同じ遊びを通して、楽しさを共有する経験や、水の怖さ、約束を守る大切さを知って欲しいと思います。暑さと、夏の遊びで、体力を消耗します。ご家庭での健康管理をお願いします。

【【 保育参観 】】

例年のような保育参観は取りやめとし、希望者のみの個人面談を、8月以降の予定で検討中です。

★ プール遊び ★

今月から、プール遊びが始まります。

先日、ひまわり組さんが、汗びっしょりになりながらプール掃除してくれました。

子ども達はとても心待ちにしています。

楽しいプール遊びも、カードを忘れる、記入もれ、日付を間違えて記入する、等の不備があると、元気でプール遊びができません。

毎日、お子さんの健康状態を確認し、カードに記入して持たせて下さい。



== ナース・レポート ==

【 はやり目（流行性角結膜炎）・プール熱（咽頭結膜炎）に注意！ 】

「はやり目」は主に手を介して、感染者の目やになどに接触することで感染します。

【プール熱】は、高熱を伴う結膜炎。

プールの水を介して感染することがあるものの、それよりも接触感染にて発症することが多く、両者とも原因はアデノウイルスで、感染力が強いのが特徴です。

かかってしまうと、医師の許可がでるまで登園禁止となり、登園時は意見書が必要となります。

病原菌の繁殖を防ぐため、園ではプールの衛生管理に注意しています。

ご家庭においても、手洗いや洗髪、排便後の処理など、衛生面にご配慮くださいますようお願い致します。

楽しみにしていたプールも始まり楽しい夏ですが、暑さも厳しく体力の消耗の激しい時期でもあります。

早めの就寝を心掛け、疲れを翌日に残さないように過ごしましょう。



= 7月の行事予定 =

- 2日(木) 避難訓練
- 3日(金) 木管アンサンブル・コンサート
(サザンクスからの中継)
- 17日(金) 身体測定・誕生会

《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭の取組 ☆☆

「転ばぬ先の杖」をやめ、失敗から学ばせる。

「いつまでやってるの!」「早くしない!」の言葉には、「子どもが失敗しないように、困らないように」という親の思いやり、優しさが含まれています。

しかし、子どもたちには、先の見通しを持って行動するといった考え方が、十分に身に付いていないこともあります。

そこで、大人が口を出しすぎることをやめ、失敗させて学ばせることも必要かもしれません。

子どもたちの失敗経験が少ないと、失敗した時の耐性（変化に適應する能力）が育たないと言われています。

小さな失敗を繰り返すことで、

★ 大きな失敗をしないように心がける（注意力）

★ 大きな失敗をしても、くじけない心を育てる（忍耐力）







★ 失敗を恐れず、困難に立ち向かおうとする態度を育てる（挑戦する力）ことにつながっていきます。

お子さんの 失敗は親にとって非常に不安なことです。

口を出さず、手を貸さず、子どもが失敗するのを見ることは苦しいことかもしれません。

しかし、子どもの成長に必要なことだと信じてください。

「教育力向上福岡県民運動
ホームページ」より抜粋

たんぼぼぐみ 0才児		登園自粛期間が終わって1ヵ月が経ちました。久しぶりの登園で、ご家族のみなさんと離れるのが寂しく、涙の日々でした。登園の際に「いってらっしゃい」と言って抱きしめてもらい、少しずつ涙の時間も少なくなってきました。室内では、好きな玩具を見つけ、ハイハイや歩いて取りに行き、叩き合わせて音を出してみたり、音の鳴る玩具を鳴らして笑顔で拍手をしたりと、園生活の中でも笑顔の時間も多くなってきました。また、ボール投げが大好きな子どもたち。顔より大きなボールも器用に片手で持ち、保育士が「ポイー」と投げる真似をするとニコッと笑い、投げしてくれます。これからも、子どもたちと一緒に遊び、楽しい気持ち、嬉しい気持ちを共有しながら、楽しい、笑顔いっぱいの園生活を過ごしていきます。
たんぼぼぐみ 1才児		外に行けない日も、室内遊び中、帽子を被り、靴下を履こうとしています。低月齢の子たちも自分でロッカーから出し、被ろうとすることを繰り返すことで上手に被れるようになってきています。見守ったり、どうしても出来ないときに一緒にしながら、方法を知らせることで、自分でできることが増えています。戸外遊びでは、滑り台の側面の壁から登ったり、鉄棒にぶら下がったり、ぶら下がるだけでなく、足を上まで持ち上げようとしたりと、とても活発に遊んでいます。活動範囲が広がり、危険も増えます。いろいろな経験の中で、体の使い方や身の守り方を身に付けられるよう、近くで見守り、声掛けしていきます。今月からは、プール遊びが始まります。体調や皮膚状態に気を付け、プール遊びを楽しみたいと考えています。
すみれぐみ 2才児		暑い日が続いていますが、子どもたちは汗をいっぱいかきながらも、夢中になって色々な遊びを楽しんでいます。先日、部屋で遊んでいたと、絵本を持って来て「読んで」と一人の子がやってきました。そして、保育士の膝に座ります。しばらくすると、もう一人やってきて「私も」と膝に座りました。すると、「嫌だ!」と場所の取り合いになりました。お互い譲らず押し合いになりました。「二人とも座りたいね。どうしようか?」と言うと、一人の子がしばらく考えて、「はんぶんこしよう」と言いました。その一言で、二人とも笑顔になり、一緒に仲良く絵本を読み楽しみました。これから、遊びや生活を通し、友だちとの関わりもどんどん増えてきます。友だちの存在の気付き、気持ちを考える経験を積み重ね、一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように見守っていきます。
ちゅうりっぷぐみ 3才児		お箸への関心が高く、「お家で練習してきたよ!」と誇らし気に報告してくれた男の子がいました。試しにお箸を渡してみると、動かしかたが不安定でスムーズにつまめず、「おかしいな〜」とちよっぴり残念そうです。そこで、正しい指の位置とお箸の動かしかたを一緒に確認し、「練習したら、また見せてね」とエールを送りました。数日後には立派に習得していました。「出来た!」という手ごたえは自信と誇らしさで心を満たし、「お箸ちょうだい!」と元気な声が響いています。その子の姿に影響を受け、周りの子ども達も少しずつ関心が高まっています。今月から、プール活動を計画しています。朝、お家で排便を高ませてくれることや体をしっかり休めること、自分で着脱を頑張ることなどをお話しています。楽しく安全な活動となりますようご協力お願い致します。
ばらぐみ 4才児		4才児期は、苦手な事にも前向きに取り組もうとする気持ちが芽生えてきます。食事の面でも見られます。クラスの半数の子は苦手な食材があり、給食に出てくると手が止まります。そこで、「食べ物の働き」の学習をしました。ご飯やパンは「元気のもとを作る」、魚やお肉は「体を強くしてくれる」、野菜や果物は「風邪やばい菌をやっつけてくれる」という事を伝えました。更に、三大栄養素の絵を見せながら、当日の給食の食材を例に挙げてお話ししました。自分の体に必要なことやどのように助けてくれているかが分ると進んで口に運ぶ子が増え、「先生、食べたよ!」と達成感に満ち溢れた表情です。この経験を積み重ねながら自信を付けていく事で、他の場面でも力を発揮していくことでしょう。今後も様々な環境を作りながら、夫々にあった取り組みをしていきます。
ひまわりぐみ 5才児		登園自粛が明け、友だちと会えることを楽しみに登園してくる子、情緒不安定になる子などさまざまでしたが、徐々に園生活の流れを思い出し、友だちと楽しく過ごしています。「早くしたい!」と言っていた当番活動を始めました。二人組になってお茶つき、台拭き、ごあいさつを、紅組と白組に分かれて布団敷きをしています。友だちが当番を忘れていたり間違っている時は教え合い、難しいところは得意な子が補い合いながら協力し合って頑張っています。また、誕生会では誕生児の名前呼びをし、みんなで話し合っ決めて2曲披露しました。誕生会当日は恥ずかしさや戸惑う姿も見られましたが、練習では張り切って一生懸命取り組んでいました。本番の出来よりもそれまでの過程を大切に頑張りを受け、子どもたちの自信に繋げていきたいと考えています。